

子ども議会 質疑応答

問

小池の新しい道路に
信号機を
設置してほしい

小池に新しく広い道ができ、車の交通量がとても多くなりました。30人ほどの児童が、この道を横断して登校していますが、横断歩道はあるものの、信号機がありません。下級生を連れた登校班長にとって、横断するのもひと苦労です。また、下校時には、低学年だけで横断するので、とても危険です。早急に信号機を設置していただけないでしょうか。

飯野小6年

田崎 絢菜
議員



答

信号機設置を含めた
安全対策を県警察と
協議していく

県道小池竜田線に新設された小池バイパスは、狭い道路を解消し、歩道を整備して歩行者の安全性を向上させることや、生活道路としての利便性を考慮した道路です。

一方で、小池バイパスにある交差点には信号機がないため、児童が安心して安全に横断することが難しいと、学校やPTAからも意見をいただいています。

信号機の設置や管理は県警察が担当しており、信号機の設置には、「主な道路の自動車などの往復交通量が最大で1時間あたり原則300台以上」という条件があります。

小池バイパスの交差点は、この条件を満たしていないため、信号機が設置されていないものと考えています。



町としても、信号機の設置や安全対策の必要性は十分理解しているのですが、信号機設置を含めた対策を、引き続き県警察と協議してまいります。

問

津森小校区に
コンビニが
建ってほしい

現在、津森小校区には、コンビニがありません。一番近くのコンビニは、自転車で気軽に行けない距離です。そこで、校区に新しいコンビニができないかと考えました。

そのコンビニで気軽に買い物をしたり、緊急時に必要な買い物をしたりと便利です。また、県道熊本高森線を利用して西原村方面から校区を通る人も多く、そういった人がコンビニを利用してくれるのではないのでしょうか。

津森小校区の活性化としてコンビニの誘致をお願いします。

津森小6年
宇土 寿々之助
議員



答

コンビニ誘致のため
津森小校区をもっと
魅力的な地域に

近くにコンビニがあれば、大変便利ですが、お店を建てて、経営を続けていくためには、多くの利用者が必要です。

利用者を増やす方法として、校区に「たくさん人を呼ぶ」、「住む人を増やす」などが考えられます。

このための取り組みのひとつとして、「潮井自然公園」をより魅力的に作り直しています。神社や豊かな水源、ホテルなどで愛されてきた公園に、新たに大型遊具を設置しました。今後も、水遊び場やキャンプ場を整備する予定で、町内外から多くの人が遊びにきてくれると期待しています。

また、住む人を増やすためには、住みたいと思ってもらえる地域にするまちづくりが重要です。町は、道路や下水道などの施設整備だけでなく、地域の魅力をさらに高める取り組みを地域と共に進めます。こうした取り組みにより、コンビニのようなお店を建てたいという人が出てくるのではと考えます。